

英語表現科について

平成17年度 英語特区により、小学校第1～6学年において英語教育を全国に先駆けて実施

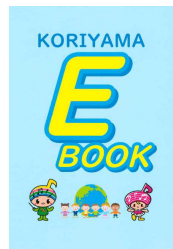
令和2年度 学習指導要領の改訂

小学校第3・4学年「外国語活動」第5・6学年「外国語科」必修となる

本市では、小学校第1・2学年において「英語表現科」を教育課程特例校として実施

<ねらい>

- 英語や外国文化に慣れ親しむこと
- グローバルな視野と英語に対する興味関心を持ち、進んで交流できる人材を育成すること
- 小学校及び義務教育学校3年生以降に行う「外国語活動」や「外国語科」の学習の素地を養うこと



E-BOOKの改訂と小学校英語表現科指導計画（教育委員会作成）
市立全学校へ派遣している語学指導外国人の増員



	学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
令和元年度 まで	教科名	英語表現科					
	授業時数	10時間 (生活科より)		15～35時間 (総合より)		50～70時間 (外国語活動35時間+総合より)	
	実施根拠	教育課程特例校		教育課程特例校		教育課程特例校	
令和2年度 から	教科名	英語表現科		外国語活動		外国語科	
	授業時数	10時間 (生活科より)		35時間		70時間	
	実施根拠	教育課程特例校		学習指導要領		学習指導要領	

成果・課題について

<成果>

【教育課程特例校に関するアンケート】

- 「聞く」・「話す」力の向上が図られた。
- 英語を使ったコミュニケーションに対する意欲が高まった。
- 「外国語活動」、「外国語科」の学習へ円滑に移行できている。

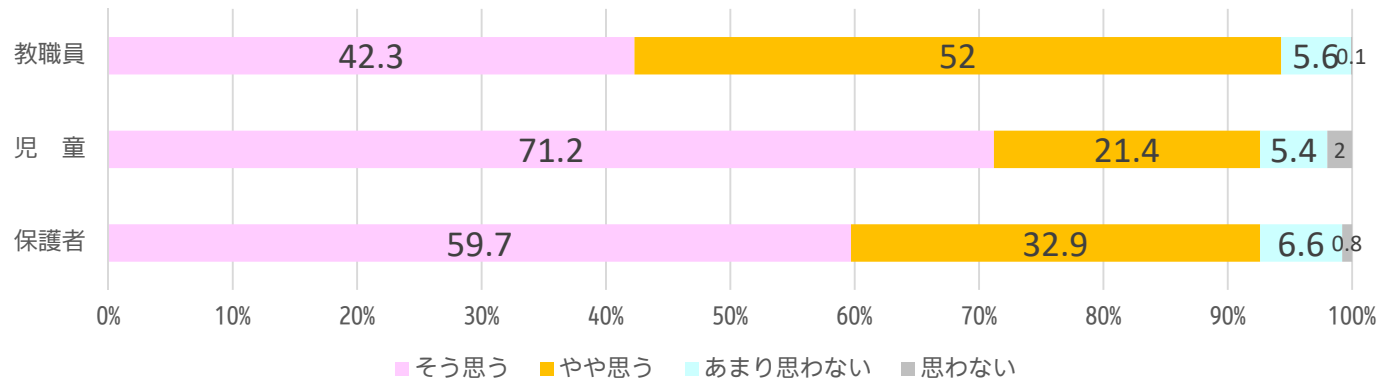


【学校評価】（全小学校・義務教育学校の割合）

【教職員】 英語で楽しくコミュニケーションを図る態度を育むことができていると思いますか。

【児童】 英語を使って先生や友達と進んで楽しく学習することができましたか。

【保護者】 英語表現科の授業で、楽しく英語の学習をしていますか。



<課題>

- 身につけた英語を日常的に使用する場面設定が必要である。
- 教員の指導力の向上及び語学指導外国人との連携を図る必要がある。

課題解決に向けて

E-BOOKを活用した授業づくりの支援、研修の充実